



沖縄式

地域円卓会議について





まずは...

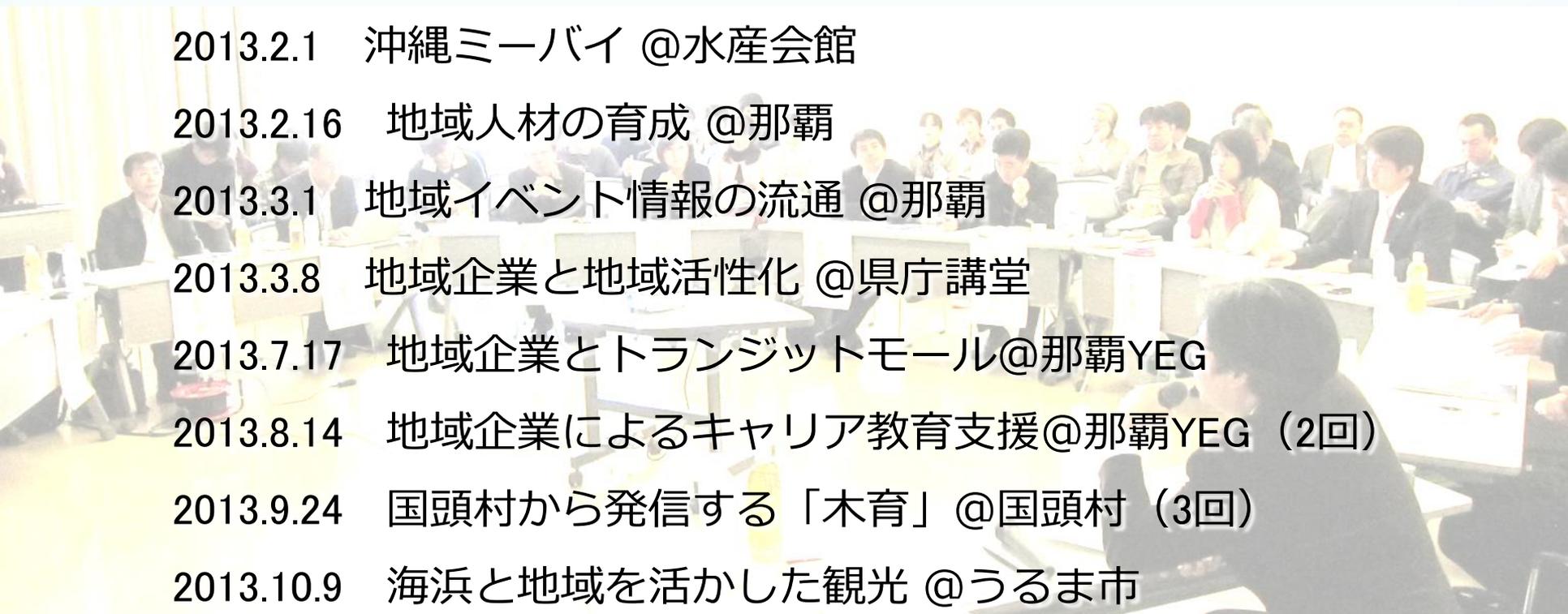
これまでの地域円卓会議を

13のテーマで開催！



これまでに開催した円卓会議

- 2011.2.19 地域の担い手の連携 @那覇
- 2012.1.7 協働・情報・共感 @那覇 (写真)
- 2012.6.12 災害停電時の介護の電源 @那覇YEG
- 2012.8.9 程順則のまちづくり @名護
- 2013.1.13 理科教育の外部人材活用 @宮古島
- 2013.2.1 沖縄ミーバイ @水産会館
- 2013.2.16 地域人材の育成 @那覇
- 2013.3.1 地域イベント情報の流通 @那覇
- 2013.3.8 地域企業と地域活性化 @県庁講堂
- 2013.7.17 地域企業とトランジットモール@那覇YEG
- 2013.8.14 地域企業によるキャリア教育支援@那覇YEG (2回)
- 2013.9.24 国頭村から発信する「木育」@国頭村 (3回)
- 2013.10.9 海浜と地域を活かした観光 @うるま市

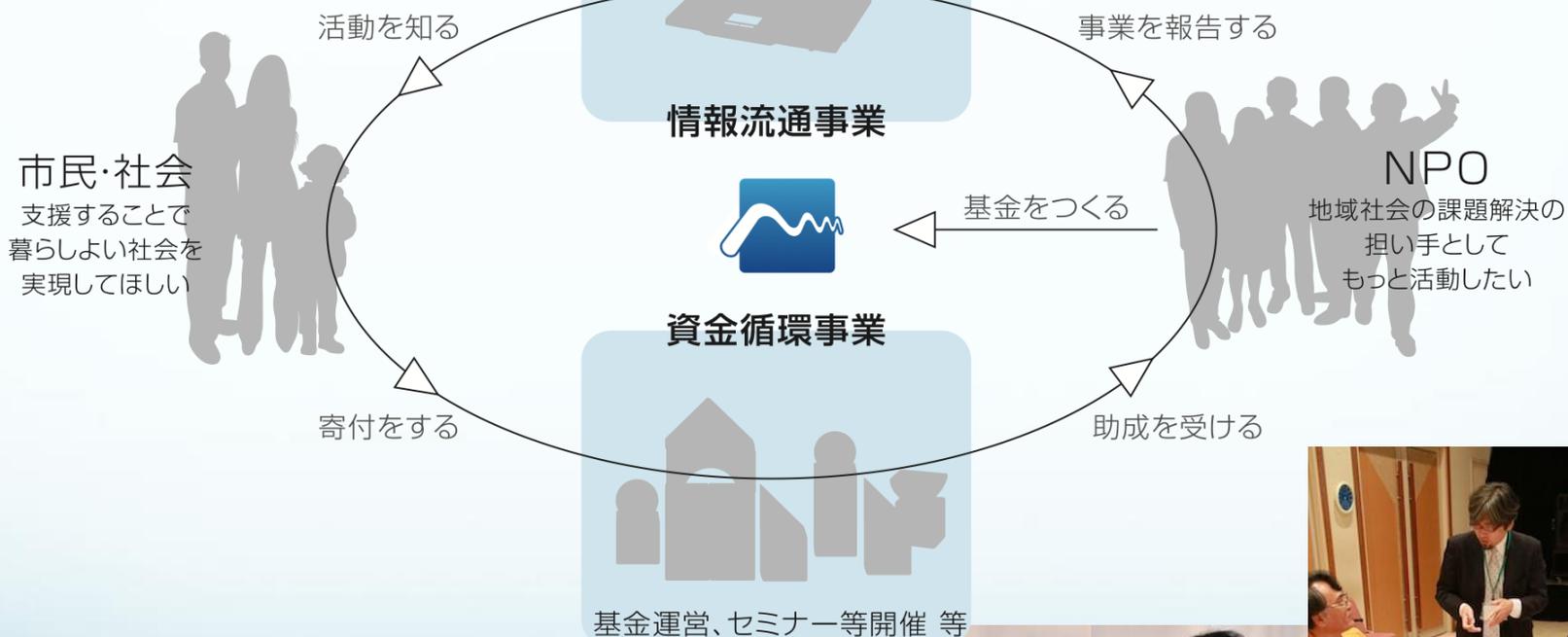




私たちは
公益財団法人みらいファンド沖縄です。



NPOデータベース、広報誌発行



- 2010年設立
- 沖縄NPOデータベース 330団体登録
- 「寄付と助成のプログラム」での支援団体のべ23団体
- 寄付受入累積金額 21,833,524円 (491件)
(2/1現在,設立時拠出金含む)



沖縄の抱える地域課題

離婚率1位 2.58%

4歳未満人口にしめる待機

児童の割合1位 2.74%

世帯数にしめる被保護世帯の割合
1位 3.2%

ひとり親世帯1位
3.06%

失業率1位 7.6%

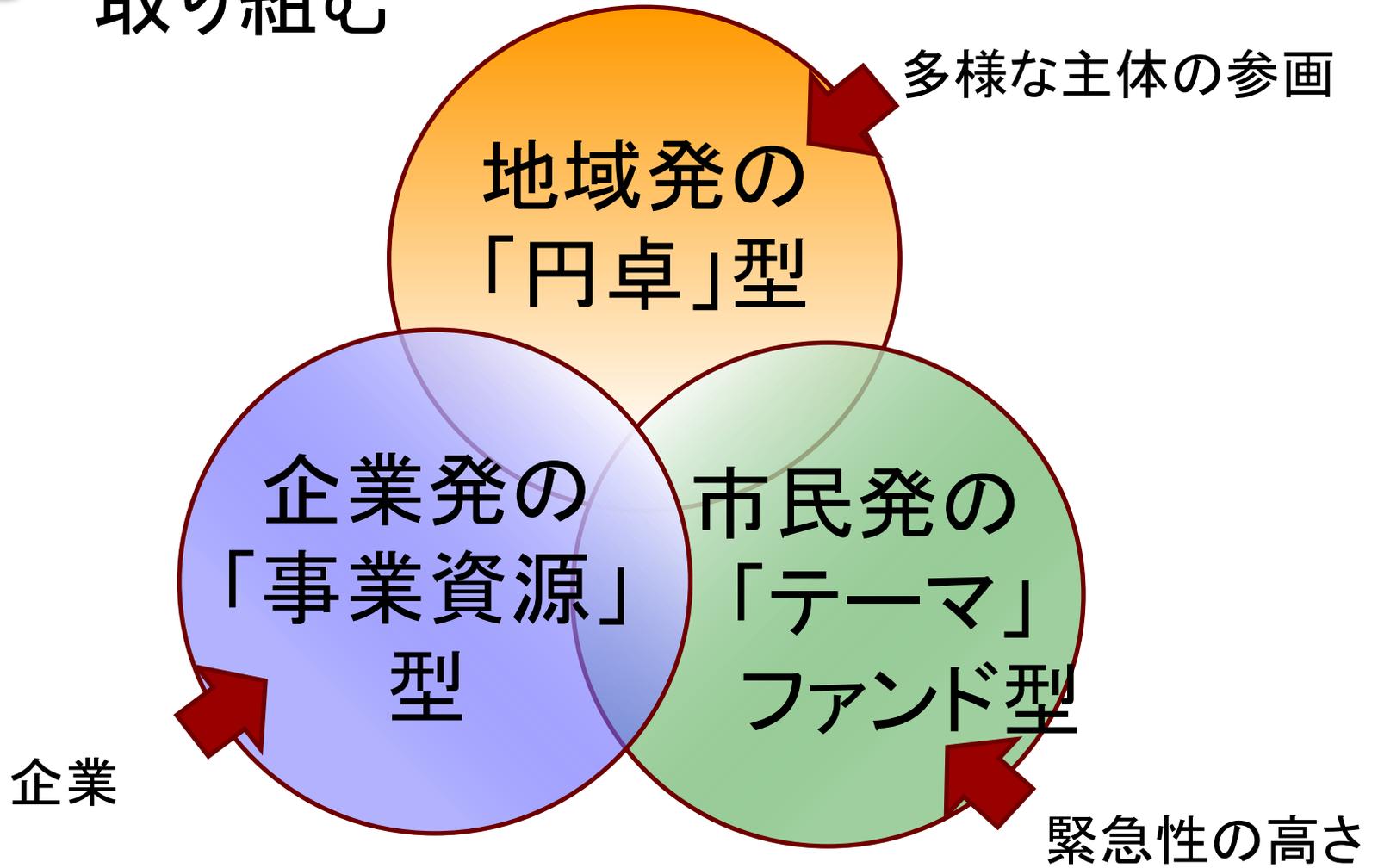
沖縄県の犬猫殺処分数は、
1000世帯あたりの殺処

離職率1位 7.7%分は15.69匹で全国
ワースト





地域課題を3つのアプローチで 取り組む





つぎは...

「沖縄式」 地域円卓会議の特徴！

- ・テーマは困りごとで具体的に
- ・2重円卓会議でその場でゆるやかな意思決定
- ・円卓会議プログラムを定型フォーム（パッケージ）
- ・会場全体を巻き込んでいく参加型（多様な主体の参加）
- ・司会とファシリテーショングラフィック（記録、積み上げ）

「沖縄式」二重円卓会議の構成

二重円卓会議の出席者の「役割」の名称の解説

論点提供者

テーマについて、プレゼンを行う人

情報提供者

論点を補足・拡張する講演者

センターメンバー

会議メインの発言者

サブメンバー

センターメンバーが連れて来た仲間

会場参加者

告知で知って来た一般参加者

司会者

会議全体の進行・インタビュアー役

記録者

ファシリ + ファシグラ

事例紹介2: なは円卓会議 with 那覇YEG



2012.6.12 @那覇商工会議所ホール
テーマ: 災害等の停電時の在宅介護家庭における
課題解決のため、どんな協働が可能か?
主催: 那覇商工会議所青年部

着席者を決めるときに意識していること

論点提供者は「困っている人」



台風が多い沖縄。停電が起これば、介護家庭では、人工呼吸器や家電などの介護に必要な電気製品が使えなくて、命に関わる。

なは円卓会議 with 那覇YEGの場合

難病支援の認定NPO法人「アンビシャス」
副理事長 照喜名 通 さん

在宅人工呼吸器生活

自己呼吸ができないのを、
医療機器で呼吸が出来る
ようにする治療



暴風域の長さ

- 01年台風16号 70時間
- 04年台風18号 28時間
- 11年台風 9号 45時間

会議の企画・進行の上で、重視していること

新しい事実を引き出し、積み上げる

数値的情報

某大型リゾートホテルでは、1月期にミーバイ料理を700食提供した。

重度の障害者は、那覇市内だけで3,000人いる。

観光客が、沖縄旅行を決めるのは、出発の2～3カ月前が多い。

台風の際は、病院に避難するよう指導されるが、病院では廊下にまで患者と家族があふれて、対処しきれていない。

知られざる事実

某沖縄ミュージシャンの沖縄でのライブ。7割が内地からの観客だったことがある。

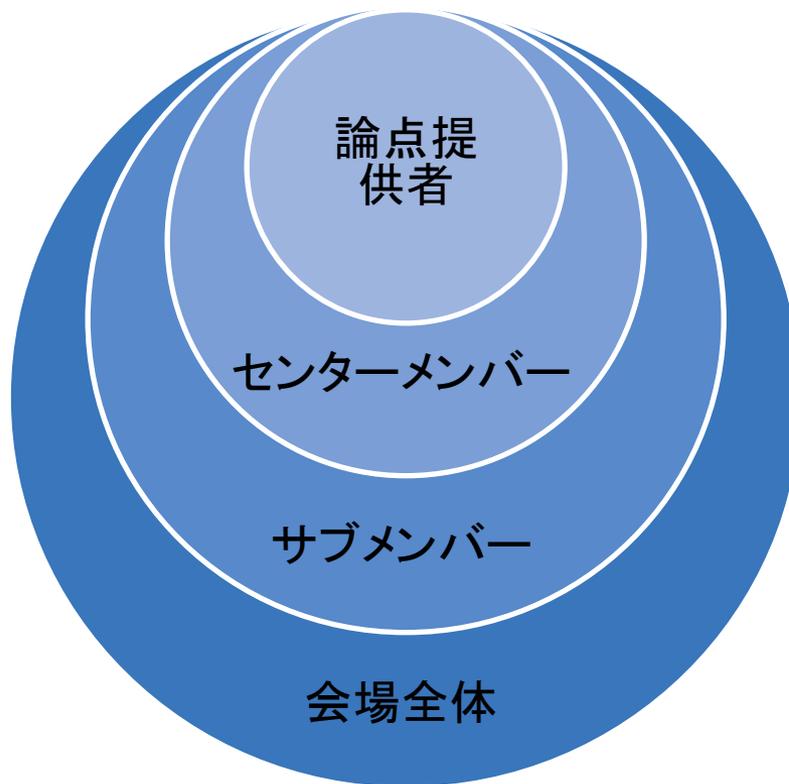
名護市で約300年続いた「御字拝」の儀式が、先代の市長のときに廃止された。

「沖縄式」二重円卓会議の構造

着席出席者(=センターメンバー)に、仲間(サブメンバー)をつれてきてもらい、サブセッションの時間中は、仲間と話し合ってもらおう。



会場の中での「参加」の広がり



事例紹介2: なは円卓会議 with 那覇YEG



2012.6.12 @那覇商工会議所ホール
テーマ:災害等の停電時の在宅介護家庭における
課題解決のため、どんな協働が可能か?
主催:那覇商工会議所青年部

会議の企画・進行の上で、重視していること

エンターテインメント性

ファシリテーターは「魅せる記録者」

- 「記録者」の役割を担い、司会の進行補助として要所要所で振り返りを行い、議論のポイントを拾う。
- ファシグラは、次に活かせる記録であることはもちろんのことだが、みんなの「お土産」として人気が高い。



司会は、中立の立場で話を引き出す

- 関与者の間では常識と思っている事も、司会者があらためて聞き出すことで、客観性を会議にもたらせる。
- 司会者が会場参加者のレベルを汲み取ることで、会場全体の会議への満足度が高まる。



地域円卓会議を通じて見えたこと

- 誰かに準備された会議に参加するのではなく
自分たちで場を持つ、事実を紡ぐ確認
困りごとだから参加できる
- 今までの枠（立場、分野）を超える（着席者や参加者）
→ 多様な地域資源を巻き込む
→ 企業にとってもビジネスチャンス！
- ゆるやかな意思決定とアクション（複数回）

多様な地域課題に、
多様な主体で課題解決に立ち向かう



mfoブックレット
「沖縄式」地域円卓会議
開催マニュアル
好評発売中！！



インターネットからも
申込み、購入できます！



公益財団法人
未来ファンド沖縄

<http://miraifund.org>